

## 第9回日本総合歯科学会総会・学術大会の報告

鳥井 康 弘 (大会長)

白 井 肇 (準備委員長)

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会は、平成28年11月19日(土)、20日(日)の両日、岡山大学鹿田キャンパスのJ Hallと記念会館(岡山市)において、「超高齢社会における総合歯科医療の役割を考える」のテーマのもとに開催されました。

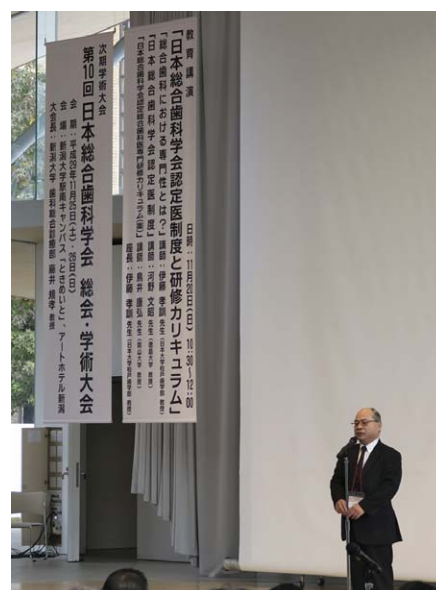
本学術大会においては、大会テーマに基づいたシンポジウム3題、日本総合歯科学会認定医制度についての教育講演3題ならびにランチョンセミナー1題を企画しました。また、一般口演発表は7題、ポスター発表は39題(若手ポスター発表14題、一般ポスター発表25題)の発表がありました。学術大会参加者は200名を超え、活発な議論がなされました。

会期中には、今学会において初めて参加証や抄録集に採用された学会ロゴマークが、会員に周知されるとともに、認定医35名、指導医15名、研修機関3施設が発表されました。

19日(土)に開催されたシンポジウムでは、座長の樋口勝規先生(日本総合歯科学会理事長、福岡歯科大学)による「地域包括医療における総合歯科医の立ち位置」のあと、曾我賢彦先生(岡山大学病院 医療支援歯科治療部)による「病院歯科に歯科の専門性はどう役立つか?」、森田浩光先生(福岡歯科大学 総合歯科学講座)による「訪問歯科診療の実際と学生教育」2名の講演が行われ、総合歯科学会として目指すべき方向性が示されました。

また、ランチョンセミナーでは、村田尚道先生(岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター)に「食べる機能を支援するために」と題して、食形態や食環境についてのお話いただきました。

20日(日)に開催された教育講演では、昨年度から開始された認定医制度に関して、「日本総合歯科学



開会の挨拶をする鳥井康弘大会長



シンポジウムでの会場の様子



教育講演



ポスター会場での会場の様子

会認定医制度と研修カリキュラム」と題して、座長の伊藤孝訓先生（日本総合歯科学会次期理事長（本学会会期中に承認）日本大学松戸歯学部 歯科総合診療学講座）による「総合歯科の専門性とは？」のあと、河野文昭先生（認定医委員会委員長 徳島大学大学院歯薬学研究部 総合診療歯科学分野）による「日本総合歯科学会認定医制度」、鳥井康弘先生（学術委員会委員長 岡山大学病院 総合歯科）による「日本総合歯科学会認定総合歯科医専門研修カリキュラム（案）」

2名によりその概要をお話いただき、その後、質疑応答が行われ、活発な議論がなされました。

今回から卒後3年目以内の症例発表に限定された“若手優秀ポスター賞”には、最優秀賞として寺岡由貴先生（岡山大学）が、優秀賞として照崎侘奈先生（長崎大学）、古居憲先生（日本大学）、小松万記先生（新潟大学）がそれぞれ選ばれ、閉会式にて表彰されました。

懇親会は大学内の記念会館1階の食堂にて行われ、約100名の参加者が集まり、活発な交流がなされました。

最後に、本学術大会を開催するにあたって色々ご指導いただいた樋口勝規理事長を始め役員の皆様、シンポジウム、教育講演、ランチョンセミナーなどの講師・講演座長を快くお引き受けいただきました皆様、協賛いただきました企業の皆様、そして学術大会にご参加いただきました会員および非会員の皆様に心からお礼申し上げます。



若手ポスター発表の表彰